

<英文法超基礎⑧> Lv.★★★★☆☆ 助動詞⑪

① that節中のshould①

要求・勧告・提案など「人に何かをさせたい」系の動詞の後ろにthat節が来るとき、イギリス英語では一般に (1.)という形をとり、アメリカ英語では (2.)という形をとる! (←この形の方がよく出る!)

I suggested that he should see a doctor. (英式) 「私は彼に医者に行くよう勧めた」
I suggested that he see a doctor. (米式)

<that節中にshouldを用いる「提案・要求」系の動詞>

- (3.)・(4.): 「提案する」/(5.): 「勧める」
(6.)・(7.): 「要求する」/(8.): 「命令する」
(9.): 「強く要求する・主張する」 など

② that節中のshould②

「要求」や「勧告」の意味を持つ形容詞が、(10.)と形式主語構文の形でくる場合、①と同様に、that節内は... (11.) or (12.)の形になる!

It is necessary that she (should) do it. 「彼女がそれをするには必要だ」

<that節中にshouldを用いる「必要・要求」系の形容詞>

- (13.): 「必要な」/(14.): 「必要不可欠な」
(15.): 「重要な」/(16.): 「望ましい」 など

③ that節中のshould③

「It is ㊦ that S should 原形V」の形で「17. 」の意味となる。「18. 」という訳がよくつく。

It is surprising that he should say so. 「彼がそんなことを言うなんて驚きた」

→ このshouldはthat以下の内容を「現実として受け入れられない」という気持ちを表す!

<that節中にshouldを用いる「当然・感情」系の形容詞>

- (19.): 「驚くべき」/(20.): 「当然だ」 など

4 助動詞を使った重要表現

① (21.) : 「22. 」 「23. 」

He may well get angry. 「彼が怒るのももともとだ」

It may well rain today. 「多分、今日は雨が降るだろう」

② (24.) : 「25. 」

You might as well go home. 「家に帰った方がいいよ」

③ (26.) : 「27. 」

You might as well throw your money away as lend it to him.

「彼にお金を貸すくらいなら、捨てた方がまだ」

④ (28.) : 「29. 」

= (30.) / (31.)

⑤ (32.) : 「33. 」

You cannot be too careful. 「いくら注意してもしすぎることはない」

↑いくら注意しても足りないくらいだ! 的な意味

⑥ (34.) : 「35. 」

「← want to Vより丁寧な表現」

→ (36.) : 「37. 」

⑦ (38.) : 「39. 」

I would rather stay at home than go out in the rain.

「雨の中を外出するよりむしろ家にいたい」

★ would rather Vの否定は (40.) となる!

I would rather not go to the party. 「できればパーティーには行きたい」

5 助動詞のその他のポイント

・ (41.) : 「42. 」

「← 実際はした」

※ didn't have to V : 「43. 」

「← 実際した、かどうかはわからない」

・ (44.) : 「45. 」